

# 双塔



300号 おめでとう♪

新潟教会 2013年5月

子供たちに祝福があるように

助任司祭 ナジ・エデルベルトウス

5月は緑が鮮やかな季節です。親鳥は小さな虫をつかまえて、ひな鳥に運びます。ひな鳥は黄色い口ばしを大きく開けて、親鳥から餌をもらいます。でも、中には巣から落ちて猫に食べられたり、車にひかれたりするひな鳥もいます。



May chickens come cheeping —— 「5月のひよこはよく鳴く」と言うスコットランドの諺があります。爽やかな緑は多くの人を楽しませてくれますが、親鳥にとってはそれどころではありません。なぜって、ひな鳥の鳴き声を聞きつけて、猫がやって来るからです。親鳥はひな鳥を守ることに必死です。このような意味から、5月4日の「みどりの日」や「子供の日」、母親に感謝する「母の日」が定められたのかもしれないね。

また、5月はマリア様に捧げる月として、1883年に「ロザリオの祈り」が定められました。母親は子供の成長を祈り、マリア様の保護とファチマの聖母（5月13日）の取次ぎを願います。その上、新人社員や新入生が新しい環境に馴染めずに悩む“五月病”の時季でもあるので、家族を守ってください、と祈ることも「ロザリオの祈り」にはあるのではないのでしょうか。

さて、5月1日は「労働者聖ヨセフの記念日」であり、日本ではゴールデンウィーク（黄金週間）です。なぜゴールデンウィーク（黄金週間）というのでしょうか？ “子供の日”に飾る人形に金太郎や金時がありますから、その“金”と関係があるのかな…?! ゴールデンウィーク（黄金週間）には、多くの人が車の渋滞や電車の混雑にも関わらず帰省します。いくつになっても、ふるさとに帰ることは楽しいことです。なぜなら、ふるさとには私たちに頑張ろうという新たな活力を与えてくれるからです。

——お前の青春の日々に、お前の作り主を心に刻め。苦しみに満ちた日々が来ないうちに、  
「わたしにはもはや生きる楽しみはない」という歳月が訪れないうちに —— （コヘレト12-1）

若いうちに、創造主に心を止めることは大切なことです。すべての人の救いを望まれるイエス様の御心を大切にするマリア様の取次ぎを通して、子供たちが健やかに成長できますように。

5月の空に泳ぐ鯉のぼりのように、天のふるさとに向かえるよう、ロザリオの祈りを唱えましょう。

## 聖なる過越の三日間

### ■聖木曜日（主の晩餐の夕べのミサ）----- 3月28日（木）19:00～ -----

説教の後、洗足式が行われた。主イエスが弟子達の足を洗われたように、菊地司教様が信徒代表6名の足を洗われた。その後、聖体を仮祭壇に移す聖体安置式が行われ、派遣の祝福はされずに終わった。

【豆知識】この日は「なんとなく終わる」ことが特徴。祭壇からは祭壇布などがすべて取り払われ、裸の状態に。キリストの受難と死が始まったしるし。祭壇の真ん中あたりに約30cm角の石があり、殉教者の遺物が埋め込んである。

### ■聖金曜日（主の受難の祭儀）----- 3月29日（金）19:00～ -----

この日の典礼は、始めもなく終わりもなく、いきなり祈願から始まった。受難の朗読の後、司式のナジ神父様は短いことばで会衆を祈りへと招いた。その後、「盛式共同祈願」が荘厳に唱えられ、教会、教皇、司教、司祭、信徒、政治に携わる人々のため、さらにはユダヤ教の人々や神を信じない人々のためなど、10の意向で祈りがささげられた。十字架礼拝には、会衆が長い列を作った。



### ■聖土曜日（復活徹夜祭）----- 3月30日（土）19:00～ -----

聖堂入り口で祝別された火は、復活のろうソクに移された。真っ暗な聖堂内に会衆の復活賛歌が響く中、ろうソクを先頭にした司祭らの行列が続き、厳粛な雰囲気にも包まれた。司教様のお話の後、入信の秘跡が行われ、今年は4名が洗礼・堅信・初聖体を受け、共同体に加わった。

### ■ラウール神父様 新主任司祭着任のミサ ----- 4月14日（日）9:30～ -----



桜が見事な満開の第二日曜日。ラウール神父様は復活節第3主日のミサを司式し、新潟教会主任司祭としてスタートされた。ミサ後は、センター2階で歓迎会が行われ、「ただいま」と第一声。会場から「お帰りなさい」の声と拍手が湧いた。

歴代の主任司祭は偉大であったから、「私でよいのですか？」と司教様にお訊ねしたことなどをお話しされた。牧者として羊の匂いが分かる司祭でいたいと挨拶され、出身地はメキシコ、兄弟5人（男2人・女3人）の次男との自己紹介があり、明るい笑顔とユーモアあるお話で、会場は和やかな雰囲気にも包まれた。

【補足】神父様はスペイン語、イタリア語、英語、そして日本語の4か国語がOK！

## 《 2013年5月の聖書クラス・信仰講座のご案内》

曜日	時間	内容	担当
月曜日（不定期）	午前10時～	主日の聖書	三
金曜日（毎週）	午後7時～	聖書クラス	ナ

## 【編集後記】

月刊「双塔」5月号は300号になりました。一口に300号と言いますと、年間12回発行ですので単純計算で25年続いた事になります。今回の5月号は聖週間・復活祭の祝賀会・江部神父様の送別会・新主任司祭ラウル神父様の歓迎会など盛り沢山となり、記念の300号に相応しい教会だよりとなりました。信徒のみなさまに感謝を申し上げます。  
(広報部)

### ミサ時間のご案内

† 主日（日曜日）7時・9時半・12時※ 18時  
※第1日曜日は英語ミサ  
† 週日（金曜以外）7時  
† 金曜日 10時（第1金曜日10時・18時）

### カトリック新潟教会 月刊「双塔」

毎月1回 最終日曜日発行  
編集・発行／カトリック新潟教会  
教会運営委員会広報部  
〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町656  
TEL：025-222-5024 FAX：025-222-5054